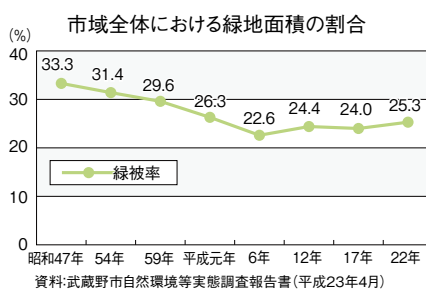


次の世代につなぐ、武蔵野の緑

かつては雑木林が多く、農風景の広がる緑豊かな地域だった武蔵野市も、戦後の宅地開発や相続による敷地分割などによって急激に緑が減少していきました。ここでは、行政と市民が協力しながら成果を上げている緑のまちづくりについてご紹介します。

武蔵野市の緑被率



樹林地・
植樹地
昭和47年



樹林地・
植樹地
平成17年



昭和 昭和40年代、日本では高度成長期の急速な宅地開発などにより、緑が失われていきました。その状況に危機感を覚えた武蔵野市では、昭和48年4月に全国に先がけて「武蔵野市民緑の憲章」を定め、緑を守り、育て、伝えていくために、市民と市の役割などを明示し、さまざまな取り組みを積み重ねてきました。

昭和47年から武蔵野市の緑の状況(緑被率など)を把握するため、緑の実態調査をおおむね5年ごとに実施しています。昭和47年当時は、33.3%もあった緑被率ですが、その後、減少の途をたどり、平成6年には22.6%にまで減ってしまいました。近年は横ばいから若干の増加傾向が見られ、平成22年には25.3%まで回復しました。しかし、公有地の緑が増加している一方で、武蔵野市の緑の約6割を占める民有地の緑は、今も減り続けています。市内の緑を守り、育て、次世代へ伝えていくためには、行政だけでなく、市民の方の理解と協力が不可欠なのです。

武蔵野市民緑の憲章(抜粋)

わたしたち武蔵野市民は、

1 すべての緑はみんなの財産として、大切にします。

緑は、個人の庭先のものであれ、公園・街路のものであれ、ひとしく市民すべてが共通に享受するものと考えて大切にします。

2 常に緑をまもり緑をそだて、これを次代に伝えます。

緑の生育には長い年月がかかることを考え、緑の保全とともに増殖を積極的におこない、これを次代の市民に継承する。

3 自発的に緑化運動を推進する。

市民の努力と創意をあつめ、多様なかたちで自発的な緑化運動をくりひろげる。

4 市の緑化計画と、その実現に参加する。

市政に緑化の計画の推進をもとめ、計画とその実現に参加する。

武蔵野市は

1 緑化計画を定め、推進体制を確立する。

2 緑のネットワークの充実を積極的にすすめる。

3 市の施設の緑化を、市民に率先してすすめる。

4 学校・用地企業などに自発的な緑化をもとめる。近隣の自治体と協力してひろく緑化をすすめる。

未来へつなげる公園づくり

新しい公園ができました ～みんなで、公園へ出かけてみましょう～



はなもみじ公園

拡充・
リニューアル

所在地 吉祥寺北町 2-20

面積 2316m² (拡充前: 663m²)

コンセプト 北町の庭～昔の庭の面影を残したくつろぎの公園～

個人宅で大切にされてきた樹木（サクラ、ケヤキ）や庭石を残し、静かにくつろげる公園になりました。足つぼを刺激する「健康快道」など高齢者の方も利用できる遊具も多く配置され、幅広い世代の方が楽しめる公園です。



太陽光パネルを設置

吉祥寺北緑地

所在地 吉祥寺北町 1-23

面積 1000m²

コンセプト 桜のある散歩道

新設



非常時には「かまど」になるベンチ

北町保育園の南側にできた緑地です。サクラやヒマラヤスギなど、以前からある大木を活かして緑豊かな環境を創りました。日常の暮らしのなかで、ちょっと通り抜けるだけで、気分転換ができそうな空間です。



計画中!

(仮称) 吉祥寺の杜 緑地

所在地 武蔵野市吉祥寺東町 1-17

吉祥寺の東地区で新しい公園の計画が進められています。市街地に生まれるかけがえのないオープンスペースです。豊かな樹木と吉祥寺のにぎわいが調和しながら、市民が憩えるスペースを目指し、ワークショップで整備に向けた検討をしています。



市 内の緑を守り、育んでいくため、積極的に公園の整備を進めています。整備は平成22年5月に策定した「公園・緑地リニューアル計画」に基づき計画的に実施しています。平成23年度は11カ所の公園や緑地の新設やリニューアルを行います。

公園・緑地リニューアル計画では、エリア内の複数の公園で役割を分担し、すである公園や緑地を活用することで、新たな公園の増設や、特定の公園の多機能化だけでなく、リニューアルによつて多様な緑の環境を確保していきます。また、老朽化した遊具や施設などの整備も行い、魅力的な空間を創出します。

緑のまちを守り、育てるために

武蔵野市の緑のうち、公園などの公共施設の緑は39.3%にすぎません。残りの約6割が民有地の緑に支えられています。このような民有地の緑を守り、育てるために、武蔵野市ではさまざまな取り組みを行っています。



- シンボルツリーは保存樹木も含め、市内で2114本が指定されています（平成23年4月1日現在）

大木・シンボルツリー 2000計画

樹木は、武蔵野の過去・現在・未来をつなぐシンボルです。21世紀に引き継いでいくものとして2000年までに2000本（民間の所有する樹木を含む）を指定し、保存していく「大木・シンボルツリー2000計画」を1994年から始めました。より緑豊かな武蔵野市となり指定した樹木などが、人々の憩いとなることを目指しています。



- キャラクター
大木・シンボルツリー指定の樹木にはキャラクターのデザインされたプレートが付けられます



- 道路沿いの緑化は、災害時に延焼を防止する効果もあります



- 新築記念でお贈りするコブシ
- 誕生記念でお贈りするブルーベリー

未来へ育て 苗木すくすく大木計画 —誕生記念樹・新築記念樹—

武蔵野市では民有地の緑の創出・育成を目指し、建物の新築やお子様の誕生など、さまざまな機会を通じて苗木の配布を行っています。

新築記念樹では、ハナミズキやシマトネリコなどの5種の樹種の中から1種を選んでいただき、固有の番号プレートとともにプレゼントしています。また、誕生記念樹は、ブルーベリーやオリーブなど屋内で育つ品種も含め6種の樹種の中から1種を選んでいただき、お贈りしています。家の庭ですくすくと育ち、緑豊かな武蔵野市が未来へつながることを目指しています。

●新築記念樹 (年4回の配布)	コブシ、シマトネリコ、 ハナミズキ、モミジ、 ヒメシャラ
●一般配布 (年度末に1回配布予定)	
●誕生記念樹 (年4回の配布)	ブルーベリー、ジュンベリー、 ユスラウメ、オリーブ、ベンジャミン、 パキラ

接道部緑化

接道部分の緑は、多くの人が緑を楽しむことができ、まちの景観形成に大きく寄与します。また、ブロック塀から生垣などに変えていくことは、地震が起きた場合などの安全確保にもつながります。武蔵野市では、緑を創出する際のブロック塀の撤去・植栽費用などの一部を助成しています。対象条件がそれぞれありますので、事前に緑化環境センターへ計画図などを持参して、必ずご相談ください。事前の申請が必要ですので、ご注意ください。



第29回全国都市緑化フェアTOKYO

9月29日、井の頭公園が緑のテーマパークに変わる



自 然や緑の大切さを広く伝えるためのイベント「全国都市緑化フェア」が今年は東京都で開催されます。そのメイン会場のひとつに井の頭恩賜公園が選ばれました。

メインの会場は同園の西園です。大きなテーマは「ふれあいとにぎわい、交流の風」。会場は「テマガーデン」「キッズビレッジ」「コラボレートガーデン」の3つのゾーンで構成されます。テマガーデンゾーンでは、ゾーンごとに食・花・香・癒・月といったテーマを設定します。とりわけ「花の庭」では大規模な温室が設置され、天井二面が色彩豊かな花で埋め尽くされます。

このほか、子どもたちが五感を生かしながら人間と自然の関わりを体験できるキッズビレッジや森のパビリオンも登場。コラボレートガーデンゾーンでは、造園や農業、芸術といった専攻の大学が展示を行います。また、御殿山・林間広場、井の頭池エリアでも、色とりどりの花を使った展示や修景が行われます。吉祥寺のまちなかにおいても、アーティストによるライブ演奏や、体験講座、宝探しイベントなど、緑化フェア関連のさまざまなイベントが開催されます。

井の頭公園がいつもと違う緑のテーマパークに生まれ変わる1ヵ月間。ぜひ足をお運びください。

全国都市緑化フェアTOKYOに展示される小・中学生のみどりのイラスト募集！

— 武蔵野市 みどりの表彰・顕彰制度 —

武蔵野市では、将来の緑豊かなまちづくりを目指し、緑の保護・育成に取り組み地域に貢献している方々を毎年さまざまなテーマで表彰するみどりの表彰・顕彰制度を行っています。今年は、小・中学生を対象に「みどりあふれるまち」をテーマに、みどりのイラストの募集をします。

募集内容

- 募集テーマ：「みどりあふれるまち」
- 対象：小・中学生
- 提出：A3サイズの画用紙
- 応募締切：8月10日（金）消印有効
- 展示：応募作品は全国都市緑化フェアTOKYOの会場（井の頭恩賜公園など）で展示予定

提出先：〒180-8777 都市整備部緑化環境センター ☎ 0422-60-1863

開催概要



第24回 全国都市緑化フェア TOKYO

〔期間〕

平成 24 年 9 月 29 日（土）
～ 10 月 28 日（日）

〔開場時間〕

午前 9 時～午後 4 時 30 分

〔入場料〕 無料

〔会場〕 上野恩賜公園、井の頭恩賜公園、日比谷公園、浜離宮恩賜庭園、海の森、国営昭和記念公園

〔開催団体〕 国土交通省（提唱）、東京都・財都市緑化機構、国土交通省関東地方整備局、武蔵野市（共催）、三鷹市（共催）